

いま、物流が熱い。

情熱物流

JONETSU BUTSURYU

株式会社ロジコム

2025年度(令和7年)

環境経営レポート



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

■ロジコムキャラクター：随所で補足説明に現れます



りふ丸

性格：神経質・心配性



ハート・エイド・マイコムミモザ

性格：突っ走る・陽気・自己中心的



シド

性格：調整役・協調性

CONTENTS

1. トップメッセージ	…1	6. 環境経営計画	…13
2. 会社概要	…2	項目・取組事項	
関連会社		7. 取組	…14
事業所名		持続可能な開発目標とEA21取組との関係性	
実施体制		二酸化炭素	
3. 方針	…7	産業廃棄物	
L70計画 基本方針		倉庫内作業の自動化・省人化促進事業	
環境経営方針		自立型ゼロエネルギー倉庫モデル促進事業	
事業活動		熱中症予防	
4. 環境負荷の実績	…9	緊急事態訓練	
環境負荷の実績と評価		社会貢献	
5. 環境経営目標	…12	地域貢献	
環境負荷/中長期環境経営目標		文化振興	
		働き方改革	
		環境関連法規	
		8. 代表者マネジメントレビュー	…29

報告対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日

発行日

2026年7月1日
EA21環境事務局(品質管理部)

HPリンク

<https://www.net-logicom.co.jp/>



エコアクション21
認証番号0003413

1. トップメッセージ



当社は社是社訓である「信頼と貢献」の構築のために、全てのお客様に対してその責任と義務を果たすべく、ロジコムグループとして、積極的に安全、品質、環境、社会等のあらゆる活動に取り組んでおります。

近年の事業規模拡大に伴い、当社の化石燃料使用による二酸化炭素排出量は増加傾向ではありますが、事業活動における環境負荷の低減は我々の使命であると自覚し、積極的な使用効率の改善を行っております。地球環境・社会・経済への課題解決策として、2015年9月に国連総会で採択された持続可能な開発目標（SDGs）の実現に貢献できるように努力致します。

2020年に政府が発表されたカーボンニュートラルにおいては、中長期計画として排出原単位の削減目標を掲げ達成できるように取り組みます。主に従来からの省エネ活動や、LPGから電気への燃料転換を図るとともに太陽光発電設備を積極的に導入し自社発電と自社消費を行いCO2削減を目指します。

2026年7月1日

ロジコムグループ 代表 大上 正人



2. 会社概要



社名 株式会社ロジコム
代表者名 大上 正人
設立 2022年4月1日
資本金 1億円
売上高 345億円（2026年3月期）
従業員 873名（社員）
倉庫延床面積 293,982㎡

主な事業内容

- ・自動車部品会社及び関係会社の製品保管
その他一切の業務
- ・倉庫業
- ・貨物利用運送事業 等



行橋営業所

【関連会社】

社名 株式会社ロジコムホールディングス
代表者名 大上 正人
設立 1959年6月1日
資本金 2億4,540万円
売上高 23億円（2026年3月期）
従業員 57名（社員）
事業所延床面積 529.52㎡

主な事業内容

- ・ロジコムグループの経営管理
- ・ロジコムグループの経営企画
- ・不動産の賃貸
- ・システム開発
- ・発電・売電に関する事業
- ・前各号に関するコンサルティング業務



会社概要



【関連会社】

社名	株式会社ロジコム・アイ
代表者名	小林 雄
創業	1969年12月
資本金	4,800万円
売上高	54億円（2026年3月期）
従業員	492名（社員）

主な事業内容

- ・ 貨物自動車運送事業
- ・ 引越業務
- ・ 自動車/フォークリフトの整備、修理
- ・ 貨物利用運送事業 等



社名	株式会社ニチブツ
代表者名	大上 正人
創業	1988年8月
資本金	4,000万円
売上高	2.1億円（2026年3月期）
従業員	5名（社員）

主な事業内容

- ・ 東京海上日動火災保険代理店
- ・ 東京海上日動あんしん生命保険代理店
- ・ 不動産賃貸業
- ・ 物品販売 等



事業所名

本社1/営業所16/工場1/物流センター11

★…株式会社ロジコム・アイ ◆…株式会社ニチブツ



事業所名		所在地
本社	★◆	〒732-0044 広島県広島市東区矢賀新町5-7-4
福島営業所	★	〒960-0251 福島県福島市大笹生免橋1-1
北関東営業所	★	〒326-0836 栃木県足利市南大町字宮西281-1
藤沢営業所	★	〒252-0811 神奈川県藤沢市桐原町15-2
海老名物流センター		〒243-0422 神奈川海老名市中新田5-18-1
浜松営業所	★	〒430-0822 静岡県浜松市中央区東町736-1
名古屋営業所	★	〒470-1207 愛知県豊田市鴛鴨町郷上200
豊田東物流センター		〒470-1207 愛知県豊田市鴛鴨町治林131（名古屋東部陸運株式会社構内）
鈴鹿営業所		〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町字上野田5783-1
滋賀営業所	★	〒520-2552 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口字広谷1284-13
竜王物流センター		〒520-2552 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口1303
阪神物流センター		〒664-0842 兵庫県伊丹市森本7-108-1（名古屋東部陸運株式会社構内）
岡山営業所	★	〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島字新湊8263-18
広島営業所	★	〒731-4311 広島県安芸郡坂町北新地1-1-34
海田物流センター		〒736-0034 広島県安芸郡海田町月見町4-11
広島シーサイド物流センター		〒731-4321 広島県安芸郡坂町植田1-1-16
広島西物流センター		〒733-0036 広島県広島市西区観音新町4-6-16(三井不動産ロジスティクスパーク広島1内)
東広島営業所	★	〒739-0153 広島県東広島市吉川工業団地11-2
熊野物流センター		〒731-4213 広島県安芸郡熊野町98-18（くまの産業団地内）
山口営業所	★	〒747-0833 山口県防府市浜方89-1
防府三田尻物流センター		〒747-0825 山口県防府市大字新田築地2039-3
海田工場		〒736-0034 広島県安芸郡海田町月見町9-8
北九州営業所	★	〒800-0314 福岡県京都郡苅田町幸町7-135
苅田物流センター		〒800-0321 福岡県京都郡苅田町新浜町1-6（鶴丸海運株式会社構内）
熊本物流センター		〒869-1236 熊本県菊池郡大津町大字杉水2889-2
行橋営業所		〒824-0068 福岡県行橋市延永1011-1
福岡営業所	★	〒822-0151 福岡県宮若市水原210
鞍手営業所		〒807-1307 福岡県鞍手郡鞍手町大字室木765-15
中津営業所	★	〒879-0124 大分県中津市田尻崎20-3

(1) 認証登録の対象範囲

- ・自動車部品関連物流サービス、自動車部品製造業、自動車部品関連運輸サービス
太陽光発電売電業、不動産賃貸業、損害保険業
- ・株式会社ロジコムは、株式会社ロジコムホールディングス、株式会社ロジコム・アイ、
株式会社ニチブツをグループとした認証登録

(2) ①実施体制

ロジコムグループ

(株)ロジコム
代表取締役社長

(株)ロジコムホールディングス
代表取締役社長

(株)ロジコム・アイ
代表取締役社長

(株)ニチブツ
代表取締役社長

環境最高責任者
業務本部 部長

EA21環境事務局
品質管理部

(株)ニチブツ

ロジコム/ロジコム・アイ 事業部環境責任者

第一事業部
事業部長

第二事業部
事業部長

第三事業部
事業部長

第四事業部
事業部長

営業所環境責任者・内部監査員（社内認定試験合格者）

第一事業部
営業所長/センター所長

第二事業部
営業所長/センター所長

第三事業部
営業所長/センター所長
工場長

第四事業部
営業所長/センター所長

②環境経営システム責任と権限一覧表

担当者	役割・責任・権限
代表者	・環境経営に関する統括責任
	・環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技能者を用意
	・環境管理責任者を任命
	・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知
	・環境経営目標の承認
	・代表者による全体評価と見直しを実施
	・環境経営レポートの承認
環境最高責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理
	・法規制等要求事項登録簿を承認
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口(外部機関)
	・環境活動の取組結果を代表者へ報告
	・環境経営レポートの作成指示
	・内部監査員の選任及び内部監査実施の指示
EA21環境事務局	・EA21推進の事務局
	・環境関連法規等チェックリストの作成
	・環境経営レポートの作成
	・環境経営レポートの公開(地域事務局への送付)
	・特定された項目の手順書・基準書の作成
	・特定された緊急事態への対応のための基準書・手順書の作成
事業部環境責任者	・環境最高責任者の補佐
	・品質環境改善計画書の承認
	・統括営業所の環境に関する統括責任者
	・統括営業所の環境に関連する全ての項目の計画と実績に確認・フォローをする
営業所環境責任者	・自営業所における環境経営システムの実施
	・環境への負荷の自己チェックリスト及び環境への取組の自己チェックの実施(自営業所分)
	・自営業所における環境経営方針の周知
	・自営業所の従業員(社員・パート・人材)に対する教育訓練の実施
	・自営業所に関連する環境経営目標及び環境活動計画の作成と実施及び達成状況の報告
	・手順書の運用
	・特定された緊急事態への対応のためのテスト・訓練記録
	・環境関連の外部コミュニケーションの窓口(顧客・地域)
	・自営業所の問題点の発見、是正、予防処置
内部監査員	・環境管理最高責任者の指示により内部監査の実施
	・ガイドラインや管理規定、基準書に適合し継続的な改善活動になっているかの監査
	・内部監査の実施結果を環境最高責任者、経営者へ報告
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚
	・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

3. 方針

【L70計画 基本方針】 設立70周年（2029年度）を目標にした中期計画

- (1)国際社会から信頼される企業を目指す
- (2)常に新しいことに挑戦する
- (3)個性を伸ばし、能力を高める
- (4)夢を語り、夢の実現を

【環境経営方針】

ロジコムグループは、物流及び製造、保険代理店業務を通じて社会に貢献する為に、E A 21の環境経営マネジメントシステムを継続的に改善し、環境負荷低減による環境保全推進、及びGHG(温室効果ガス)排出量を削減する。

- (1) 環境関連の法令、規則、社会的規範を遵守する。
- (2) 事業活動の全段階を通じて、環境に与える影響の中で以下の項目について環境保全活動を推進する必要性を認識して、全社的活動として行動する。
 - ① 電気エネルギーの使用効率を向上させ化石エネルギーの抑制を図る
 - ② 廃棄物の排出効率及び水の使用効率の向上を図る
 - ③ 環境に配慮した設備、備品の販売及び使用をする
 - ④ 有害な化学物質の把握による適正な管理をする
 - ⑤ 太陽光発電等による電気需要の最適化を図る
- (3) 全従業員に対し、環境に関する教育と訓練による意識向上活動を実施する。
- (4) 地域や環境団体の環境活動に積極的な取り組みをする。
- (5) この方針を公開し、社内外のコミュニケーションに努め、又事業環境の変化等により定期的及び必要に応じて随時見直しをする。

株式会社ロジコムホールディングス
株式会社ロジコム
株式会社ロジコム・アイ
株式会社ニチブツ

代表取締役社長 大上 正人
代表取締役社長 大上 正人
代表取締役社長 小林 雄
代表取締役社長 大上 正人

制定日 2008年4月1日
改訂日 2022年4月1日
改訂日 2022年7月1日
改訂日 2024年4月1日

社長の環境に対する強いメッセージが伝わるなあ～

だから従業員全員の省エネ意識が強いんだろうなあ～



【事業活動】

1959年に設立 自動車産業を支える物流企業



当社は、自動車部品を専門に取り扱う物流会社です。福島県から熊本県までの自動車メーカーの近隣に35拠点の倉庫を構え、主に自動車部品の保管・入出庫管理・輸配送などを行っております。混載輸送を強みに自動車メーカーの生産ラインに合わせてジャストインタイムで部品を供給しており、CO₂排出量の削減にも取り組んでおります。



株式会社 ロジコム

広島県広島市東区矢賀新町5-7-4
TEL.082-282-3434
http://www.net-logicom.co.jp

地球環境にやさしい エコアクション21取得企業



エコアクション21は、環境省が策定した日本独自の環境マネジメントシステム(EMS)です。エコアクション21では、必ず把握すべき環境負荷の項目として、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量及び水使用量を規定しています。さらに、必ず取り組んでいただく行動として、省エネルギー、廃棄物の削減・リサイクル、節水、自らが生産・販売・提供する製品の環境性能の向上及びサービスの改善などを規定しています。これらの環境への取り組みは、環境経営にあたっての必須の要件です。

※一般製造業 自動車部品製造業 H1Pから引用

EA21を取得して
16年なのだ！さら
に認証拠点を増や
して継続していく
のであります！



物流の合理化

(1)共同物流(集荷/輸送/納品)の実施

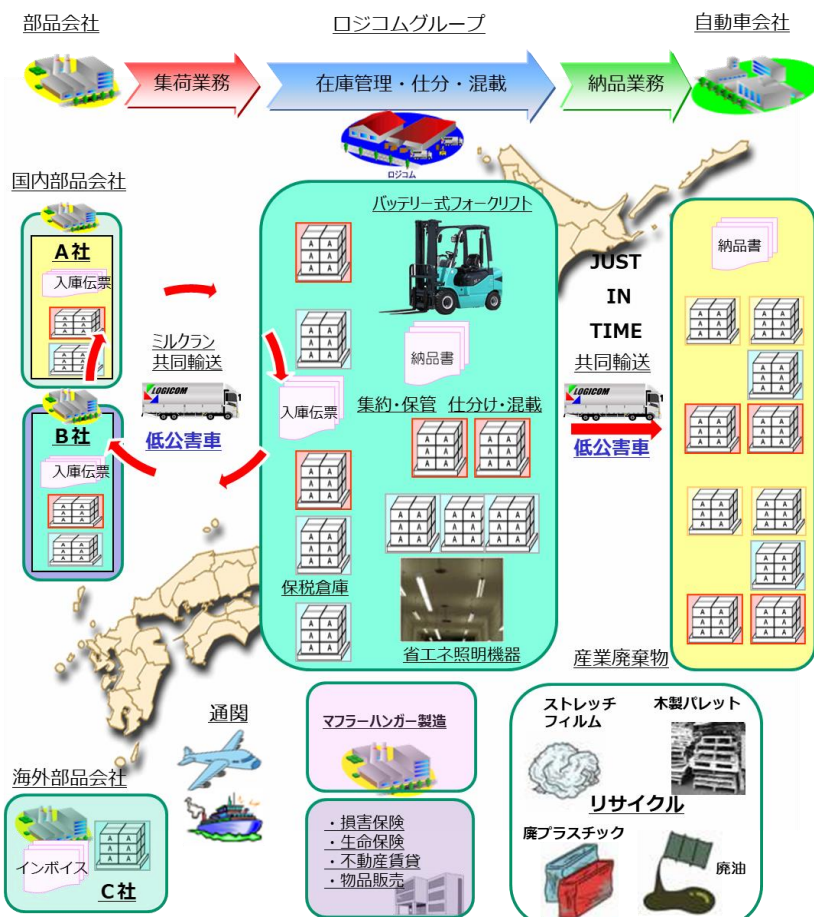
自動車部品の共同輸送、トラックの積載効率向上による物流の合理化
道路及び工場内の車両削減を実現

(2)物流デポへの集約

物流の拠点(デポ)に集約すること
で、荷役作業の効率化等による
JITの実現へ貢献

(3)通関から最終地までの一貫物流

海外での会社設立及び輸出入品の
通関手続きから最終納入先迄
一貫した物流業務を実現



4. 環境負荷の実績

【環境負荷の実績と評価】

* 環境経営目標(P12)及び環境経営計画(P13)参照

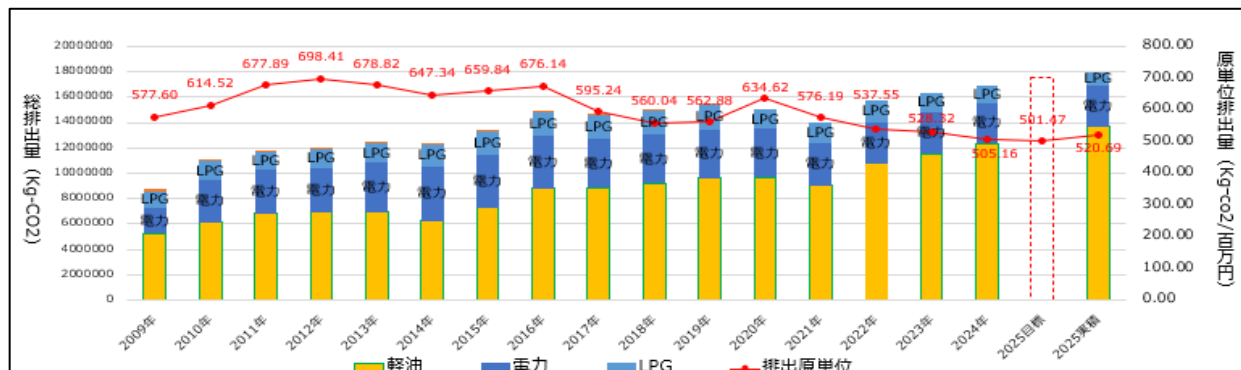
(1) 2025年度 目標達成状況

環境経営目標項目		2023年度 基準年	2025年度 目標値	2025年度 実績値	評価
原単位 当たりの 削減	二酸化炭素排出量の削減 (kg-CO ₂ /売上百万)	511.89	501.47	520.69	×
	産業廃棄物排出量の削減 (t/売上百万)	0.1087	0.1065	0.0657	○
	水使用量の削減 (m ³ /売上百万)	0.4294	0.4211	0.4272	×
総排出量	二酸化炭素 (kg-CO ₂)	16,441,999	17,488,724	17,997,309	—
	産業廃棄物 (t)	3,490	3,714	2,271	—
水使用量	水道 (m ³)	13,791	14,687	14,765	—
化石燃料の 使用量	LPG (kg)	504,272	524,645	376,640	—
	軽油 (ℓ)	4,461,557	4,641,804	5,218,113	—
購入電力	電力 (kWh)	6,663,433	7,696,265	6,439,664	—
化学物質の 適性管理	有害物質量の把握と管理	対象品の 把握と 適性管理	対象品の 把握と 適性管理	対象品の 把握と 適性管理	—
事業規模	売上高 (百万円)	32,120	34,874	34,565	—
	トラック走行距離 (km)	16,150,994	17,468,915	19,129,213	—
電力 売電実績	九州電力・東京電力 (kwh)	149,859	—	151,993	

(2) 排出原単位（売上）当たりの実績

【二酸化炭素】

・二酸化炭素排出原単位は3.8%増にて目標未達成。LPGはバッテリー式リフトへの変更にて大幅に使用量減。電力は各所のごまめな消灯と太陽光発電（広島・海田）にて購入電力は大幅減。軽油はトラック輸配送業務の拡大により使用量が増加しており、エコドライブやトレーラー導入により原単位を抑制する方向で取り組む。



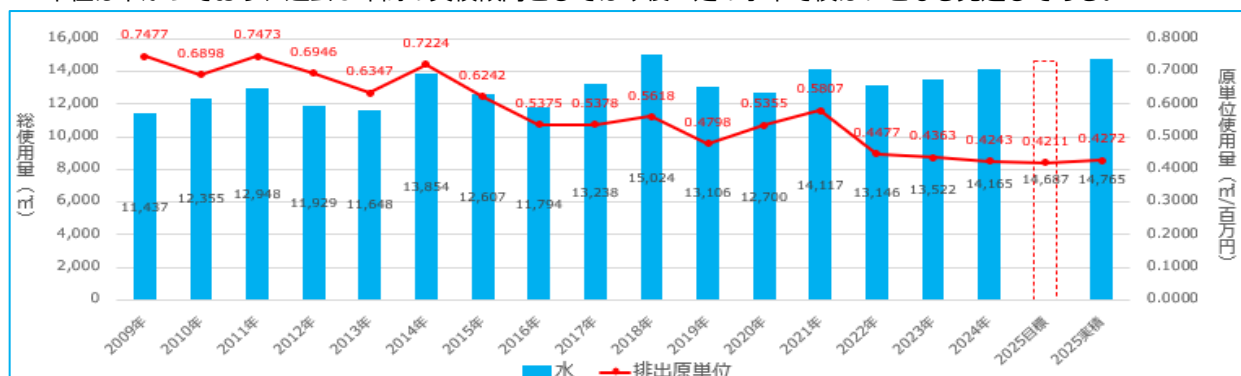
【産業廃棄物】

・産業廃棄物では38.4%減にて目標達成。特に海外製品荷量の増減はダンボール素材や木製パレットの処分量に直結し、リサイクルとして積極的に取り組んでいる結果となっている。今後も体積の増減は続くと思われるが、各所による廃棄物の圧縮や分別等の取り組みは継続しており一定の効果を得られていると考える。



【水】

・水使用量原単位は1.4%増にて目標未達成。人員もトラックも増えている状況に比例して当然使用量も増えるため、さらに積極的に節水活動すべきであるが体調に関わる資源なので無理はさせない。初年度よりは確実に原単位は下がっており、過去3年間の実績傾向としては今後一定の水準で横ばいとなる見通しである。



(3) 営業所の環境経営目標と実績及び評価

営業所	二酸化炭素排出量 kg-CO ₂ /売上百万円			産業廃棄物 t/売上百万円			水使用量 m ³ /売上百万円		
	目標	実績	評価○× 達成率%	目標	実績	評価○× 達成率%	目標	実績	評価○× 達成率%
全社	501.47	520.69	× 3.8%	0.1065	0.0657	○ -38.3%	0.4211	0.4272	× 1.4%
福島	1,151.38	1,196.79	× 3.9%	0.0142	0.0486	× 242.3%	0.5289	0.5503	× 4.0%
北関東	475.20	557.86	× 17.4%	0.0764	0.0693	○ -9.3%	0.0010	0.0000	○ -100.0%
藤沢	510.96	604.83	× 18.4%	0.3149	0.2035	○ -35.4%	0.6312	0.7528	× 19.3%
浜松	269.40	372.54	× 38.3%	0.0274	0.0351	× 28.1%	0.3056	0.2820	○ -7.7%
名古屋	401.82	459.71	× 14.4%	0.0819	0.0855	× 4.4%	0.3409	0.2502	○ -26.6%
鈴鹿	317.24	263.87	○ -16.8%	0.7476	0.4905	○ -34.4%	0.4639	0.4069	○ -12.3%
滋賀	764.33	819.57	× 7.2%	0.0226	0.0336	× 48.7%	0.6126	0.3838	○ -37.3%
岡山	266.35	274.97	× 3.2%	0.1447	0.0450	○ -68.9%	0.2662	0.2304	○ -13.4%
東広島	1,221.53	1,502.75	× 23.0%	0.0010	0.0000	○ -100.0%	1.7897	1.6961	○ -5.2%
広島	535.50	469.42	○ -12.3%	0.0268	0.0246	○ -8.2%	0.3462	0.3404	○ -1.7%
工場	389.61	297.68	○ -23.6%	0.0034	0.0048	× 41.2%	0.9078	1.0732	× 18.2%
山口	855.77	828.38	○ -3.2%	0.2458	0.1507	○ -38.7%	0.4999	0.5619	× 12.4%
北九州	654.52	499.90	○ -23.6%	0.2663	0.1426	○ -46.5%	0.4145	0.5406	× 30.4%
中津	275.37	413.93	× 50.3%	0.0192	0.0000	○ -100.0%	0.3230	0.3074	○ -4.8%
福岡	677.47	882.94	× 30.3%	0.0554	0.0508	○ -8.3%	0.5224	0.6220	× 19.1%
鞍手	149.04	312.76	× 109.8%	0.0061	0.0000	○ -100.0%	0.2842	0.5027	× 76.9%
行橋	107.12	103.23	○ -3.6%	0.0399	0.0024	○ -94.0%	0.2335	0.1742	○ -25.4%
本社	57.17	53.29	○ -6.8%	0.0010	0.0000	○ -100.0%	0.5928	0.5917	○ -0.2%

5. 環境経営目標



(株)ロジコム/(株)ロジコムHD/(株)ロジコム・アイ/(株)ニチブツ

- 2023年度を基準値とし2024年～2026年の目標設定（売上計画を基に3年分設定）
- ※環境経営目標（原単位）は売上高（百万円）に対する3つ負荷の排出量/使用量を対象
 - ・環境負荷対象：二酸化炭素排出量・産業廃棄物排出量・水使用量
 - ・各営業所毎に目標設定を行い、全社として毎年1%減を設定する

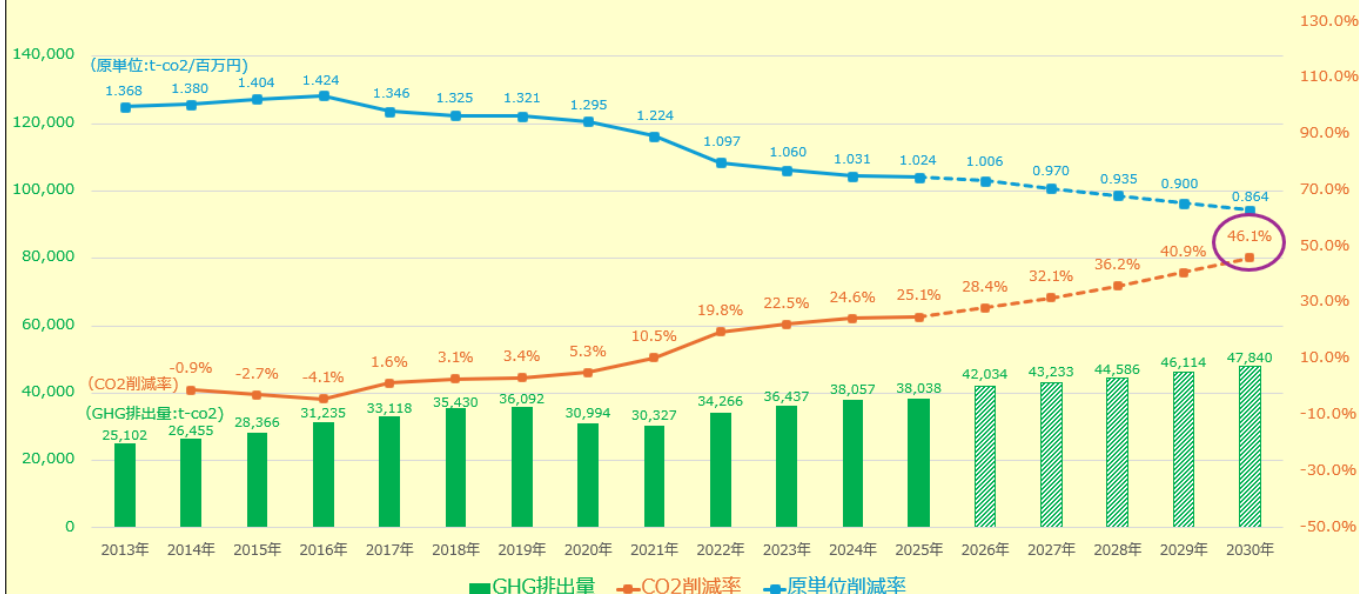
※目標設定においての基準

- ・使用量の定義：計算式＝発熱量×排出係数×44/12
- LPG：発熱量50.1×排出係数0.0163×44/12・・・2.994310kg-CO2 / ℓ
- 軽油：発熱量38.0×排出係数0.0188×44/12・・・2.619467kg-CO2 / ℓ
- ・二酸化炭素換算係数は環境省令和5年度「電気事業者別電気係数一覧の残差」を適用

電力係数-CO2/kWh	排出	単位	年度	区分	全社		
中国電力：0.552kg	CO2	kg-CO2/売上	23	基準値	511.89	基準比	-1.0%
関西電力：0.434kg	>電力		24	目標値	506.61	前年比	-1.0%
中部電力：0.459kg	>LPG		25		501.47	前年比	-1.0%
東京電力：0.390kg	>軽油		26		496.33	前年比	-1.0%
東北電力：0.471kg	廃棄物	t/売上	23	基準値	0.1087	基準比	-1.0%
九州電力：0.475kg			24	目標値	0.1076	前年比	-1.0%
			25		0.1065	前年比	-1.0%
			26		0.1054	前年比	-1.0%
	水	m ³ /売上	23	基準値	0.4294	基準比	-1.0%
			24	目標値	0.4252	前年比	-1.0%
			25		0.4211	前年比	-1.0%
			26		0.4170	前年比	-1.0%

- カーボンニュートラル中長期計画：2030年の目標値を46.1%に設定（2013年を基準値）
- ※環境経営計画(P13参照)にて継続的な省エネ取組及び売上高を伸ばし原単位を下げていく

GHG排出量削減目標（対2013年度 中長期計画）



6. 環境経営計画

※前回マネジメントレビューより
活動強化及び新規計画・・・
★自動化/省人化 ★熱中症対策



項目		取り組み事項	責任者
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量	不要照明の消灯 ・不在場所の消灯/昼間の事務所及び倉庫の消灯 エアコンの温度設定の徹底 ・設定温度（冷房時25℃、暖房時24℃）/フィルターの掃除 照明設備の代替、新設時に省エネ製品を導入 ・LED照明または無電極ランプ化 デマンド監視装置によるピーク電力の監視（DR日数） ・フォークリフトの充電時間帯の分散 電気使用機器に変更 ・LPG車からバッテリー車に代替え ・EVトラックの導入	部門長 営業所長 工場長 センター所長
	化石燃料の使用量 ・LPG ・ガソリン ・軽油	燃費の改善 ・エコドライブ運転・アイドリング抑制 ・デジタコによる運行管理（スピード、アイドリング等） 走行距離の短縮 ・セミトレ、フルトレの導入（車両台数の削減） ・レイアウト変更や運行ルート変更（配達製品の集約）	営業所長 工場長 センター所長
	自然エネルギーの活用	・太陽光発電設備の導入 ・倉庫の天井及び側面からの自然光を採光（光拡散天窓） ・倉庫新設時、太陽光発電を含む循環型（orクリーン）エネルギーへの一部切替えを推進する	営業所長 工場長 センター所長
廃棄物排出量の削減	廃棄物排出量	・取引先名でのマニフェスト発行の推進（取引先資産の廃棄） ・一般廃棄物のダンボールはリサイクルとして排出 ・産業廃棄物は分別してリサイクル（資源循環） ・木製パレットの費用削減（業者への持込・無償回収化）	営業所長 工場長 センター所長
水使用量の削減	水使用量	水の流しっぱなしの禁止 ・節水啓発の掲示 ・節水コマの設置	営業所長 工場長 センター所長
化学物質の適性管理	有害物質の適性管理	化学物質購入時又お客様の要求により使用する時はSDSによりPRTR法に該当するか確認をして適性に管理	営業所長 工場長 センター所長
環境配慮製品・設備の購入、販売	環境対応製品及び設備の購入	省エネトラックの導入 アドブルーを使用して排出ガス濃度を低減 ★倉庫作業における自動化・省人化の促進	営業所長 工場長 センター所長
	環境対応製品の販売	自動車保険エコマーク認定の金融商品の販売 太陽光発電の売電	(株)ニチブツ 営業所長 センター所長
	★熱中症対策（強化）	建物：ダブルバック・天井ファン・遮熱シート/塗料・冷風機 人体：新ユニフォーム・安価自販機・製氷機・WBGT測定器	営業所長 工場長 センター所長
社会貢献活動	取り組み	自動販売機の売上を広島県ジュニアゴルフ振興会に寄付 地域社会への貢献活動「Green Gift」プロジェクト 献血や清掃活動による地域貢献	営業所長 工場長 センター所長 (株)ニチブツ
環境教育	教育/訓練	環境法規施行と新規採用時の環境教育（3R） 緊急事態訓練の実施（火災/地震避難訓練/油漏れ対応訓練）	営業所長 工場長 センター所長

7. 取組

持続可能な開発目標とEA21取組との関係性

SDGs	EA21取組
 2 飢餓をゼロに	特別栽培米による化学肥料及び農薬散布の軽減等により、経費の削減・地力の回復等を図り、持続可能な農業の促進
 3 すべての人に健康と福祉を	騒音・振動の防止/化学物質の適正管理・喫煙所の整備 広島県ジュニアゴルフ振興会への寄付
 4 質の高い教育をみんなに	環境教育/訓練・就業規則（規定）の見直し ハラスメント教育、ビジネスマナー研修
 5 ジェンダー平等を実現しよう	働き方改革 女性の能力強化促進（ドライバー・フォークリフト・管理職）
 6 安全な水とトイレを世界中に	水使用量の削減/節水コマの設置/排水の適正処理
 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	エネルギーの効率的な使用/化石燃料使用量の削減 省エネ設備の見える化/敷地内の緑地化/太陽光パネル/LED照明/採光屋根
 8 働きがいも経済成長も	働き方改革/障害者雇用/奨学金返還支援/自動化設備の導入 企業ブランドのイメージアップ/地方の文化振興(傘鶴)
 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	技術開発、新物流システムの構築 自動化の促進事業
 11 住み続けられるまちづくりを	3 Rの推進/廃棄物の適正管理/建物設備の適切な維持管理 社会貢献活動/クリーン活動（地元の清掃活動）
 12 つくる責任 つかう責任	グリーン購入/紙・資材の省資源化/省エネ設備の導入 省人化の促進事業
 13 気候変動に具体的な対策を	フロン漏洩防止/温室効果ガスの削減 トラックの大型化/バッテリーリフト化

【二酸化炭素】

太陽光発電で二酸化炭素の排出量を削減

海田工場



広島営業所



自然エネルギーは再生
資源！CO2削減を拡大
していくゾー！！



- ・車両の大型化（トレーラー）
- ・軽油使用量の削減・積載効率向上による減車
- ・安全性優良事業所及びグリーン経営の継続



全社的にバッテリー式フォークリフトを積極的に導入



デマンド機器導入：電気使用状況を「見える化」して
ひっ迫時間をリアルタイムで確認して平準化させる



EV 1 tトラックの導入

山口営業所



CO2の排出が少なく
音も静かなのだ！
これからはEVの時代
なのであります！



「CoCoLo(こころ)の会」に藤沢営業所が入会



NPO法人が実施する「SDGs達成に貢献する事業」趣旨に賛同し、CO2削減量の
認証及び社会貢献に協力しています。

太陽光発電を使用することで温室効果ガス
排出量を削減し、国内における地球温暖化
対策の活動に参画することで、子育て支援
や植林事業等の地域活動に活用されます。



【産業廃棄物】

(1) リサイクル：再資源化

- ・ストレッチフィルムを圧縮機で圧縮梱包してリサイクル業者に売却しています。
- ・鉄やステンレスをスクラップ用に分別。
- ・梱包使用済み段ボールを古紙としてリサイクル業者に売却/委託しています。
- ・木製パレットはウッドチップになります。



(2) リユース：再利用

- ・再度利用できる梱包用のPP結束バンドは分別保管して繰り返し使用しています。



(3) リデュース：発生/消費抑制

- ・梱包材の削減（過剰梱包の見直し提案）
- ・輸送効率向上（積載効率・混載便・最適ルート）
- ・倉庫効率化（導線の最適化・LED化・自動化）
- ・エネルギー使用削減（エコドライブ教育 etc）
- ・業務のデジタル化（伝票類の電子化・ペーパーレス化）
- ・返品や破損の削減（金型や製造不良による廃棄物削減）

従業員は皆3Rを知
てるんだよぉ～

無駄のない世界を目指
していきたいなぁ～



【倉庫内作業における自動化・省人化の促進事業】

倉庫作業の自動化は、深刻な人手不足解消、作業効率と生産性向上、空間の有効活用、作業負担軽減と安全確保などに大きく貢献します。

竜王物流センター



AGV(自動搬送ロボット)

熊野物流センター



キーカート(自動搬送機)

福岡営業所



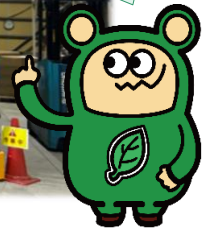
自動清掃ロボット

北関東営業所



ノンレールタナコン(移動式ラック)

650パレット
も保管できる
んだよ〜



【自立型ゼロエネルギー倉庫モデル促進事業】

行橋営業所

行橋営業所は
自動化のモデル営
業所なんだゾ！



AGV(通称ランバ)



再生エネルギー

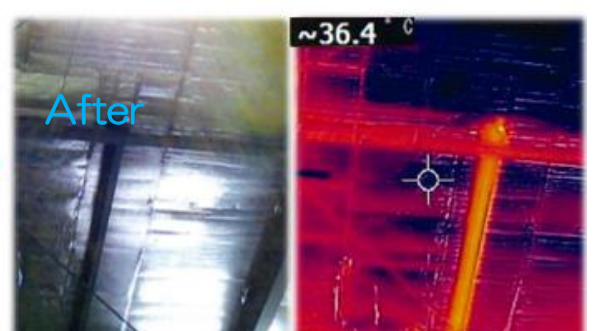
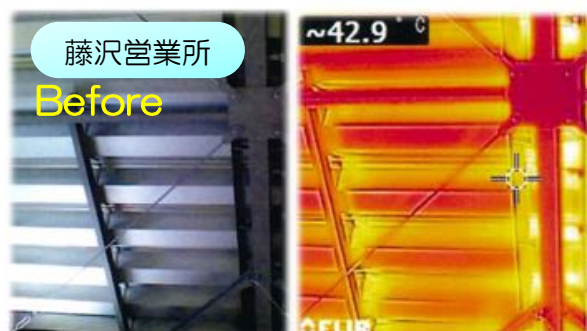
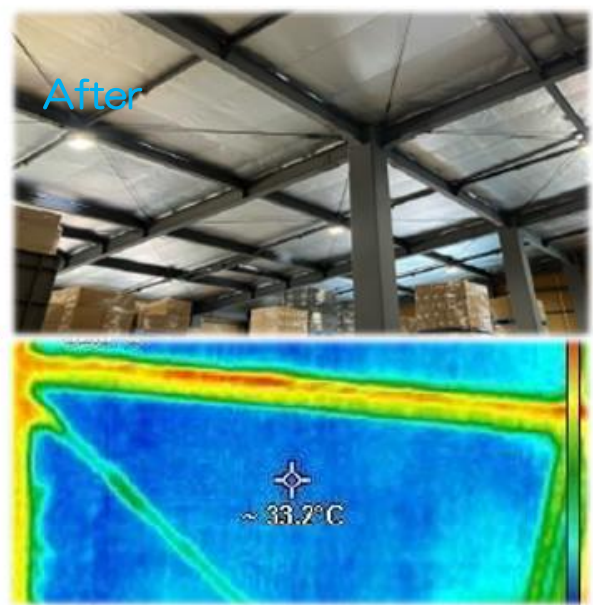
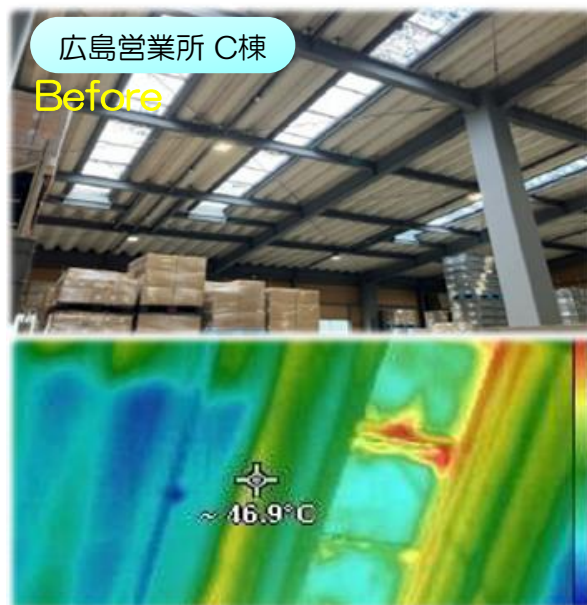
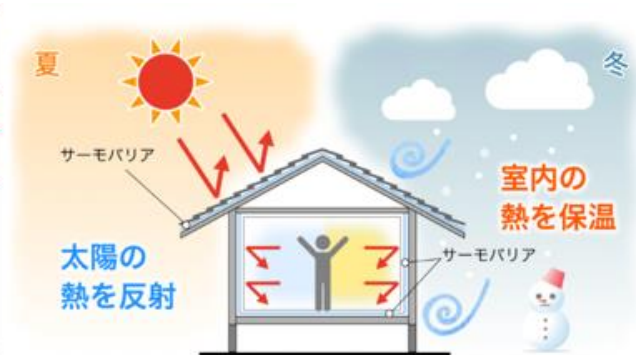
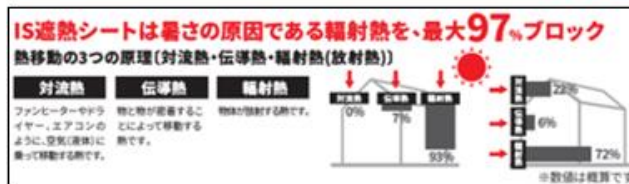
太陽光を活用し無人搬送ロボットを動かす

【熱中症予防の取組(気候変動)】

各拠点において、倉庫の構造に合わせた最適な設備を導入しています。

遮熱シート

効果 拠点	施工前	施工後	温度差
広島営業所	46.9℃	33.2℃	-13.7℃
藤沢営業所	42.9℃	36.4℃	-6.5℃





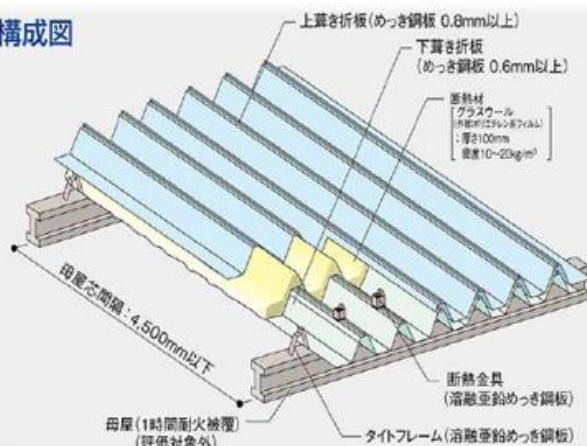
【熱中症予防の取組(気候変動)】

ダブルパック

効果	施工前	施工後	温度差
拠点			
広島営業所	46.1°C	33.6°C	-12.5°C
山口営業所	35.9°C	30.1°C	-5.8°C
福岡営業所	43.0°C	33.6°C	-9.4°C
中津営業所	2025.10施工	—	—
鞍手営業所	2025.11施工	—	—

折版タイプの屋根材を二重葺にし、その間に断熱材(グラスウール)をサンドイッチにした工法です。

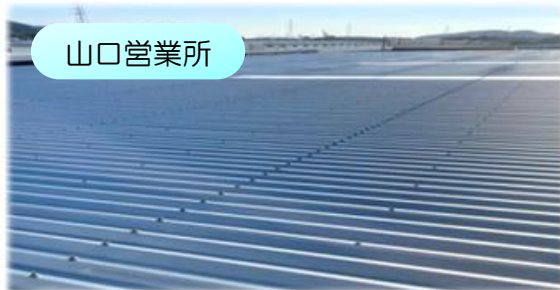
■構成図



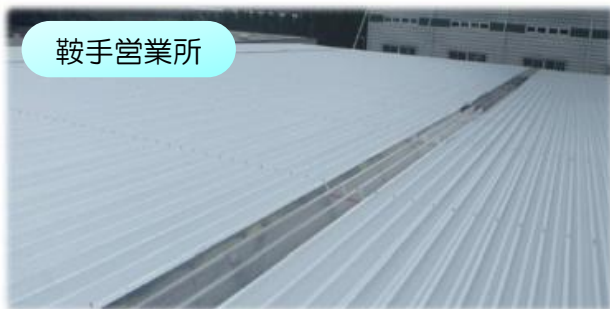
広島営業所 D棟



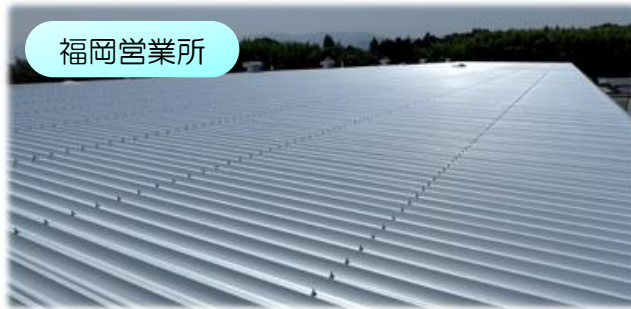
山口営業所



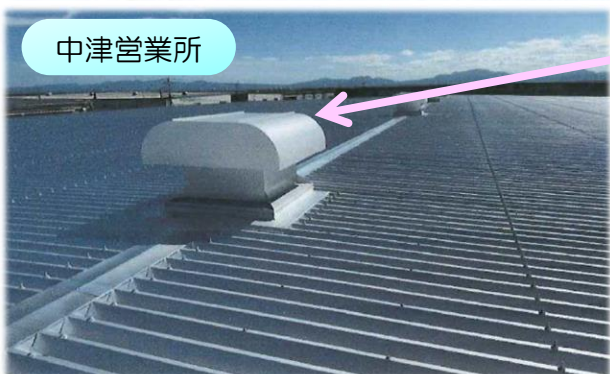
鞍手営業所



福岡営業所



中津営業所



ベンチレーター(大型屋上換気システム)



中津営業所はダブルパックと合わせて設置されました!!倉庫内の熱気を排出して空気循環します!!

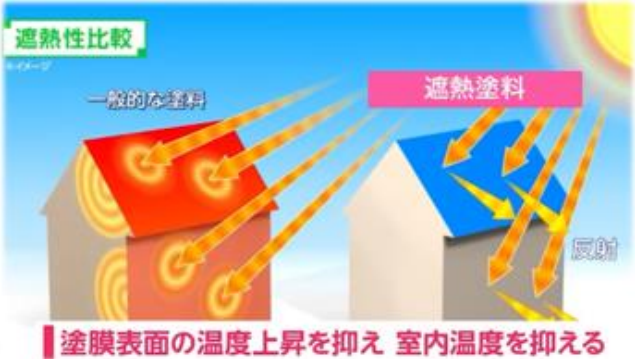


【熱中症予防の取組(気候変動)】

遮熱塗装

効果	未実施	設置済	差
拠点			
広島営業所	60.0℃	45.0℃	-15.0℃
滋賀営業所	32.6℃	20.6℃	-12.0℃
豊田東DC	56.7℃	31.4℃	-25.3℃
シーサイドDC	2025.10施工	—	—

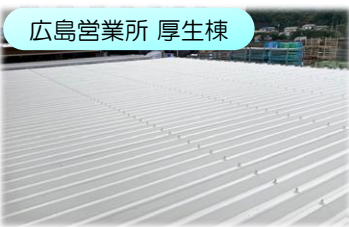
太陽光の熱を効率よく反射し、屋根の表面温度と室内の温度上昇を抑えるための塗装となります。



滋賀営業所 ↓



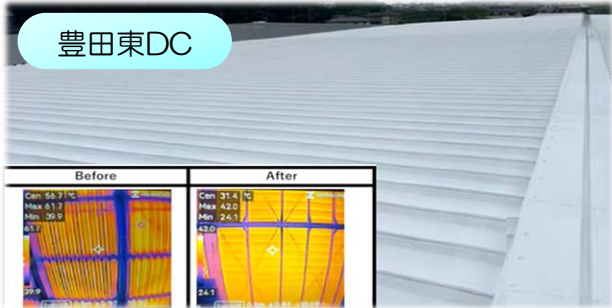
広島営業所 厚生棟



広島営業所 事務所



豊田東DC



シーサイドDC



丁寧な作業
ありがと～

【熱中症予防の取組(気候変動)】

大型天井ファン

大型クーラー

大型送風機

これから、従業員の健康を守り、作業効率を維持する目的で導入するのであります！

製氷機

氷のう

WBGT測定器
(各エリアに設置)

夏季限定の自動販売機を設置、従業員に安く提供(毎年商品のバリエーションを変えて継続中です)

30円自販機設置

全ての作業服は、既製品ではなく、オーダー(オリジナル)となっており、デザインや、機能性、通気性などにこだわっています。

空調ベスト

ハーフパンツ+レッグサポーター

Tシャツ

安全ベストを従来の幅が大きいタイプから細いタイプに変更しました。暑さ対策や安全面において機能性に優れています。

21

【緊急事態訓練/内部コミュニケーション】

☆品質/安全/環境に関する教育・訓練

消火訓練・・・水消火器にて消火を体験・消防隊を招いた訓練を実施します。



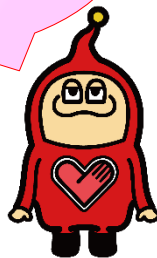
油漏れ対応訓練・・・フォークリフトとトラックからの燃料漏れ処置の訓練。



☆防災/安全の自主点検（防災機器/設備・ハザードマップ等）

2025年 9月度 防災・安全点検チェックシート					
点検日	2025 年 9 月 12 日 (金)		株式会社 ロジコム	名古屋	営業所
項目	No.	点検項目	点検内容	点検結果(不具合の内容)	
				倉庫	現場事務所
防災	1	消火設備の点検	消火栓・消火器の定期点検は実施され有効期限が経過していないか 消火栓・消火器の表示はどこからでもよく見えるようになっているか 消火栓や消火器の前に物を置いていないか	消火栓 6基OK 消火器 12本OK 表示はあるが見え難い場所あり 良好	消火器 1本OK 良好 良好
	2	安全通路、出口の点検	非常口の常夜灯は壊れていないか 非常口の前に物を置いていないか 避難通路や階段に物を置いていないか 階段の照明は破損していないか 倉庫の出入り口での一旦停止線、安全確認を実施しているか	一部故障あり 荷主には報告済み ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○
			喫煙は指定された場所で、灰皿、吸殻入れに破損	()	

訓練はいざという時に
備えて焦った行動にな
らないための重要な取
り組みなんだゾ！



【社会貢献】

広島東洋カープ、福岡ソフトバンクホークスとスポンサー契約を交わしています。（マツダスタジアムの外野席には看板があります）



自動販売機の売上金の一部が、小学生へのスナックゴルフスクールセット寄付支援に使われます。



「安全ポスター」を従業員及びご家族様に募集し表彰するイベントを実施しています。目的は、安全に対し、より一層向上させるため啓蒙活動の一環で、事故低減を目指します。（2025年度「成人は労災撲滅」「ジュニアは交通安全」）



島根県邑南町(中山間地域)はSDGsの取組をされています。弊社は水田オーナー制度に参加することで安定した農家収入を保証し、持続可能な高品質で環境にも優しい農業経営への参画活動となっています。



未来に先手を 社会に打ち手を

みずほ銀行様にSDGs取組宣言しお取引させていただいています。
（2030年までのSDGs取組目標：No.4，No7.2，No8.5）



個人や企業が社会をより良くすることを目的とした活動なのであります！

積極的に社会貢献を目指していくのであります！



広島では坂町の北新地グランドをロジコムグラウンドとして命名権を取得しています。イベント等、施設の維持運用に貢献と宣伝効果が期待されます。毎年ロジコムグループ杯学童軟式野球大会が開催されています。





【社会貢献（地域貢献）】

☆ 営業所近隣地域の清掃活動・献血支援

山口営業所：防府市新田築地周辺地域の清掃活動を実施しています。



地域の美化と保護に直接貢献するゾ！環境意識も高まり、地域住民との絆も深まり、とても良い活動なんだゾ！



広島営業所：ロジコムグラウンド駐車場に献血バスをお招きし、従業員にも献血の協力をしていただきました。



【折り鶴の再利用・地方の文化振興）】



傘鶴(さんかく)プロジェクト

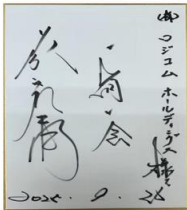
世界中の人々が広島に折り鶴を送り、平和を祈っています。折り鶴に込められた平和への願いを形を変えて、世界に伝えたい。そんな想いから、傘鶴(さんかく)プロジェクトはスタートしました。

私たちのプロジェクトに賛同いただいた広島市から折り鶴をご提供いただきました。



◆ 9月 インタビューマガジン「B.S.TIMES」取材

- ・「傘鶴」が生まれたきっかけ、「傘鶴」とおした想い、ロジコム の展望、L70に向けて、など取材を受ける
- ・インタビューー 藤波 辰爾様
- ・2025年12月掲載



〈新しい事への挑戦〉
試作中
[傘鶴ミニ]



傘鶴の生地は和紙に平和記念公園に寄せられた折り鶴が使われているんだよぉ～

今年も様々なイベントに参加したよ～～



【折り鶴再生モデル事業→名刺へと生まれ変わる】

広島市公認の「折り鶴再生モデル事業」の一環として再生された名刺で、平和記念公園の折り鶴5%と古紙95%の100%再生紙となっています。

LOGICOM

情熱物流。

www.net-logicom.co.jp

株式会社 ロジコム

〒732-0044 広島県広島市東区矢賀新町5-7-4

TEL 082-284-7093 FAX 082-284-7701

E-mail:myuasa@net-logicom.co.jp

HIROSHIMA

【働き方改革・人材育成】

☆年間を通じて様々な研修があり、新入社員、3年目、昇格者、役職者といった職位職務に応じた研修を充実させて人材育成に取り組んでいます。

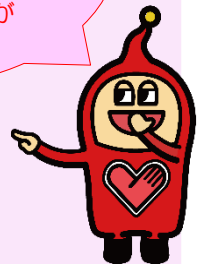
新入社員研修ではディスカッションや倉庫作業を体験します。

部門の代表による講和。

外部講師による講和にてマナーを学びます。

社会人としての礼儀や言葉使いを実践交えながら教えてもらったゾ！

対話や名刺交換といったマナーを習得することが大事なんだゾ！



海外留学生のインターンシップを通じて、異文化の中で業務体験を学び、将来のキャリアに役立つ経験を提供するという活動を行っています。

次世代育成を兼ねた研修として、若手社員を対象に役員及び各4部門が講師となる「キャリアアップ研修会」が開催されました。

【働き方改革実践企業】
【地域未来牽引企業】
【奨学金返済支援企業】
以上の取組も行っている
のであります！



【環境関連法規の遵守（主な法令コンプライアンス）】

(1)2025年度における環境関連法規等の遵守状況

2025年度は自主点検の結果、環境関連法規の違反、逸脱はありません。

(2)訴訟等の有無

環境関連機関などからの法規制違反の指摘、環境問題に関わる苦情、事故及び訴訟等の請求はエコアクション21認証後から1件も発生しておりません。

(3)環境法令教育

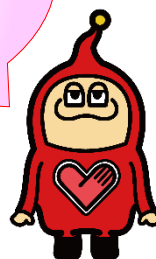
法規制追加時の共有を実施し確実に法規遵守を徹底する活動を行っています。
6月1日に施行された労働安全衛生規則改定「職場の熱中症対策義務」について、
全社教育をリモートにて行いました。

* 教育状況



2025.5.20全社教育!!
知識と取組を理解したゾ!

- ①内容共有と報告体制
- ②手順（対応フロー）
- ③継続的対応措置
- ④掲示物の充実



* 掲示状況



従業員の健康維持に必要な措置!!

予防活動に繋げていこ〜



* 環境関連法規遵守評価表への追記

該当する要求事項	関連条項による規制	該当する設備・項目	点検・測定頻度、実施時期	遵守評価	
				証拠	判定
・熱中症対策の義務化 労働安全衛生規則の一部を改正する省令（厚生労働省令第57号）	・熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止する	熱中症患者の報告体制の整備	1回/年	フロー図内 担当者	○
		熱中症の悪化防止措置の手順	1回/年	対応フロー図	○
		関係労働者への周知	既存/採用年度	周知説明と掲示	○

【環境関連法規の遵守（主な法令コンプライアンス）】

(4)当社に適用される主な環境関連法規制の遵守結果

適用法	要求事項	評価
省エネ法	・使用状況届出書等の提出と中期事業計画書の報告 ・エネルギー管理統括者の配置 ・エネルギー管理企画推進者の配置	○
廃棄物処理法	・廃棄物の適正処理 ・処理委託業者との契約締結	○
水質汚濁防止法	・事故等の届出	○
浄化槽法	・設置の届出 ・浄化槽の適正な維持管理（点検、検査等の実施）	○
自動車NOx・PM法	・規制区域内への乗り入れ証 ・適合車種の導入	○
消防法	・少量危険物貯蔵所の届出と危険物取扱管理者の配置 ・防火管理者の届出 ・消防設備の点検と結果報告	○
騒音規制法	・特定施設の届出	○
公害防止組織法	・公害防止管理者の配置	○
フロン排出抑制法	・第一種特定製品の定期点検	○
電気事業法	・自家用工作物として電気設備の技術基準への適合、関連手続き	○
プラスチック、資源循環促進法	・排出の抑制、教育周知	○

(5)省エネ取組の優良事業者クラス分けSABC評価制度（省エネ法定定期報告）

2025年提出の評価はSクラスで、9年連続Sクラスを継続評価いただいています。
 また、特定事業者として省エネ法定定期報告情報の開示制度に参加宣言しています。

中分類	細分類	本社所在地	事業者名	省エネ評価（定期報告書提出年度）				開示制度参加
				2022年	2023年	2024年	2025年	
47：倉庫業	4711：倉庫業（冷蔵倉庫業を除く）	広島県	株式会社ロジコムホールディングス	S	S	S	S	○

(6)地球温暖化対策推進法（脱炭素社会の実現に向けた具体的な行動）

- ①カーボンニュートラル宣言・・・P1 トップメッセージ・P12 中長期計画
- ②企業の排出量情報のオープン・・・P9,10,11 環境負荷の目標と実績
- ③地域の再エネ活用事業計画・認定制度・・・P17 自立型ゼロエネ倉庫モデル促進事業

(7)外部監査における環境関連法規の遵守評価

2025年度の監査において、遵守しているにも関わらず記載がモレている項目があり、次回遵守評価案内時には、基本的な法規内容について再度詳細説明して実施します。

8. マネジメントレビュー



項目	環境マネジメントレビュー議事録
日時	2026 5/11 (月) 8:30~9:00
出席者	大上社長、中元専務、真木常務、関森取締役 小林社長（アイ）、三浦部長、馬上課長、山根主任
環境経営方針 □指示あり ■指示なし	2024年4月1日改訂より変更はありませんが、P1のトップメッセージにてカーボンニュートラル宣言が追記されました（中長期計画）
環境経営目標/計画 ■指示あり □指示なし	環境負荷目標に対する実績：原単位実績 P9~11より ・二酸化炭素排出量：電力、LPGは減少し目標達成するも軽油使用量が増加し原単位増。 ・産業廃棄物排出量：ダンボールやラップの体積圧縮、リサイクル取組にて原単位減。 ・水道使用量：人員増加、トラック増加により使用量は増えており原単位としては微増。 計画に対する実績：環境経営計画 P13より ・活動を継続し全員が一丸となって環境負荷目標達成に向けて努力します。 ・バッテリー式リフトの導入（2025年度：LPGから切替9台、増車15台）
環境実施体制 □指示あり ■指示なし	実施体制：P5~6より ・実施体制の担当者について、役割/責任/権限について問題ありません。
環境に配慮した製品・サービスの販売	・太陽光発電の賃借と売電・自立型ゼロエネルギー倉庫モデル促進事業。 ・作業環境の負担軽減の強化（夏季熱中症対策：P18~P21） ・トラック：トレーラー導入による積載量確保と減車・EVトラック導入。
内部監査・外部監査からの見直し	・内部監査において推奨事項が45件と過去最高であり環境改善意識が浸透しています。 ・外部監査において法規遵守評価の記載モレがあり次回は基本的内容を事前展開(P28)
環境関連法規	・環境に関する基本法令と各地域の法令に違反はなく適正に対応しています。 ・6月1日に施行された「職場の熱中症対策義務」について教育を行いました(P27) ・省エネ法：Sクラス認定（経済産業省 資源エネルギー庁ホームページに掲載）
環境教育	・新入社員への環境教育や環境経営レポートの展開による省エネ意識付けを行います。
緊急事態訓練	・緊急時の対応訓練を年一回実施することにより、緊急事態に対する意識付けと行動を明確にしています。
環境コミュニケーション	・外部からの苦情はなく、又内部からは環境に関する改善提案を推進します。 ・環境に関する情報はホームページにて公表しています。
社会貢献	・プロ野球2チームのスポンサー契約・水田のオーナー制度への参加。 ・折り鶴再生（名刺の再生事業・和傘の生産とアピール・イベントへの参加） ・ロジコムグランド命名権による地域活性化貢献及び清掃活動による地域貢献等。
代表者による総評	・エネルギー目標については基準値から毎年1%減の3年目に入った。目標未達成の項目はあるが、カーメーカーの生産台数変動や設備投資などの変化点が多い中で各拠点の取組成果は出ている。これは、2030年の目標(2013年対比で46.1%のCO2排出削減)というカーボンニュートラル達成に向けての中期取組に対し一定の評価に値する。 ・様々な社会貢献活動を通じて、環境系の項目だけでなく、自動化や省人化という他のSDGs項目に対しても積極的に活動を行ったことで成果が出ている。特に熱中症予防策取組については、従業員の健康維持に努めるという意識が浸透している結果と評価する。
代表者による指示 (次回の効果成果)	・バッテリー式フォークリフトの導入や環境負荷（CO2・産廃・水）軽減に向けた取り組みを継続すること。 ・倉庫内作業や事務の自動化・省人化について積極的に導入を推進すると共に、導入効果を把握・検証すること。 ・熱中症防止策についてさらなる提案を募り、従業員の健康維持、職場環境の整備に努めること。